

# 「障害者」 それぞれの暮らし それぞれの自立

上映時間 27分

81,900円(本体78,000円)

ビデオ版 [C#2886]



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

<http://www.toei.co.jp/edu/>

## 制作にあたって

近年、障害のある人々が健常者と同様に生活し、活動できるよう、行政による政策・環境面での整備が進められています。そうした流れの中で、実際に地域社会へ出て、それぞれの暮らしを始めている障害者たち取材しました。

## 作品内容

一人暮らしをしている**関根義雄**さんは、脳性麻痺による身体障害がある。アパートを探す際、何軒もの不動産屋を回ったという関根さんは、不動産屋の偏見が壁になっていたと話す。ようやく見つけたアパートでの暮らしは、大変なことも多いため、有償で介助者を頼み、フォローを受けながら生活している。

重度の脳性麻痺による身体障害のある**村山美和**さんも、現在、東京のマンションで暮らしている。そこに至るまでの間、村山さんは「命の重さには差があって、障害のない人の命の方が重いのではないか」「自分が自分のままでいることは、いけないことだ」などの思いに苛まれていたという。施設を出た後、一度実家に戻って暮らしたが、友人が母親と無理心中させられた事件をきっかけに、独立して生活していく決意を固めたと語る。

関根さんと村山さんは、障害者自立生活センター「スタジオIL文京」（東京都）で働いている。ここでは障害者自身が中心となって、「介護者派遣」をはじめ、「自立生活プログラム」「ピアカウンセリング」「権利擁護活動」など、障害者のための支援事業を様々な展開している。関根さんと村山さんはそれぞれ、「障害者の自立生活」について、思いを述べていく。

グループホーム「トトロの家」（東京都）では、知的障害のある4人の女性が、3年前から共同生活を送っている。このグループホームは、知的障害者入所更生施設「愛成学園」が進めている「地域への移行方針」の一環として設けられたもの。トトロの家のメンバーそれぞれに、ここへ入ることにしたきっかけや、ここでの暮らしがもたらした変化などについて聞いていく。

**三島礼子**さん（愛成会 生活支援スタッフ）は、メンバーの4人と生活を共にしながら、彼女たちの苦

手なこと、できないことをサポートしている。三島さんは世話人としての目線から、互いに助け合い、思いやりをもてるようになったことなど、入居者たちに出てきた様々な変化について語る。一方で、メンバーは家賃や光熱費などの生活費を自分たちの収入で遣り繰りしているため、施設に暮らしている時より、経済的には苦しくなったとも指摘する。

「スワンベーカーリー十条店」では、従業員の半数以上を知的障害者が占めており、その賃金は、一般企業の最低ラインをクリアすることが前提とされている。この店を開店したのは、養護学校を定年退職した**小島靖子**さん。卒業生等の障害者の職場を確保するため、また彼らの集いの場となるよう、「スワンベーカーリー」のフランチャイズへの参加を決めたという。この店では、出張販売や宅配も行っており、そのことにより障害者と地域の住民が触れ合う機会も増えた。

日本には障害のある人がおよそ600万人いるといわれている。「共生社会」を作るためには、障害者ひとりひとりが個性をもった人間であることを前提に、お互いの存在を認め合い、尊重していくことが大切だ。

企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部

プロデューサー・・・中鉢 裕幸 撮影・・・松丸 武彦  
構成・演出・・・佐々木利男

### 現代社会と人権シリーズ 5作品

ハンセン病 剥奪された人権	女性の人権を考える
日本に暮らす新来外国人	同和問題 これからの課題
「障害者」それぞれの暮らし	それぞれの自立

2004年作品

P.

関東営業所 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631  
関西営業所 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026  
広島出張所 広島市中区国泰寺町1-5-31 〒730-0042 ☎082-249-3930  
高松出張所 高松市本町11-7 〒760-0032 ☎087-851-3766  
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

**(株)オプチカル** 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101